

NGO 環境政策提言

1 団体概要

団体名 グループ エコライフ	所在地 沖縄県浦添市内間 4-13-8
代表 西江 重信	
担当 西江 重信	連絡先 098-877-6620
	fax 098-877-6620
	e-mail g-eco.life@docomo.ne.jp, hac@genesis.co.jp

団体の活動プロフィール

平成 6 年・7 年 沖縄県北部河川にて行楽客やキャンパーに「エコロジーキャンプ」指導
平成 7 年 「環境学習指導者養成講座」開催
平成 11 年度 河川環境事業団助成「水学習と雨水によるビオトープ創造」事業
平成 12 年度 環境事業団地球環境基金助成「生ごみで地域づくり 人育り 文化創
り」事業
平成 12 年 1 月 「めだかと環境」やんばるフォーラム開催

自治体主催の環境講座に関与

現在、総合的な環境学習センター「エコステーション」の設置に取り組む。

「めだかトラスト」整備に取り組む。

「運動から行動へ」を旗印に活動してきた。さらに「ボランティアからエコノミーへ」を
かけ経済的自立をめざす。この次は「個からコミュニティへ」をテーマに自律的自立
とコミュニティとの共生を模索し、循環型社会形成の一般化に取り組む

2 政策提言概要

<p>(1) テーマ</p> <p>循環型社会形成に向けて「環境『自然環境・社会環境・精神環境』の再生・創造」</p>
<p>(2) 政策対象分野</p> <p>各省庁の連携による総合的・横断的政策（環境学習、環境保全共生・メッセージ型農業、資源循環、教育・地域社会の甦生）</p>
<p>(3) 政策手段</p> <p>農業者・自治体・NGO等の役割分担・協力態勢(土地やノウハウの提供)の確立を図り、国・県が環境整備費の一部を助成する。</p>
<p>(4) 提言概要</p> <p>循環型社会創造のしくみづくり 自立をめざし有機的につながる 多様なプログラムを用意する環境学習センター「エコステーション」を整備する 知る 足元の環境・地球規模の環境問題を学ぶ。 ふれる 自然の不思議に気づく感性の刺激。 つくる 農体験・ものづくりをとおして関心・意欲を育む。 まとめる 学習したことを整理することにより、問題解決への意欲が培われる。</p> <p>都市の生ごみ資源化のしくみづくりを確立し農村と都市の交流を図る 教育の甦生に資する 高齢者や障害者の社会参加と自立に寄与 地域コミュニティー機能の再生につながる 農の活性化、都市と農村の交流による新しい文化が育まれる。</p> <p>農村風景の再生ともうひとつの農の実証を進める 環境と共生する農業。 さまざまな立場の者の農への参加。 生きがいづくり、健康づくり、レクリエーションの場としての農業。</p>
<p>(5) 政策の推進に当たっての検討事項と期待される効果</p> <p>環境、教育、農業、ごみ、エネルギー、水資源、エコ交通システム、高齢者福祉、コミュニティー等がテーマになる事業であるので、「循環型社会の形成」をコンセプトに各省庁の政策領域を環境省が統括して横断的モデル政策を導入してほしい。 環境学習センターをキーステーションとして、農業者・林業者・漁業者等とのネットワークにより、交流・体験や人々の生活・歴史文化等に触れることにより、いやされ再生へのエネルギーが培われ、ライフスタイルの見直し、新しい文化の萌芽が期待される。</p>